



誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指して

一 言 葉 賀 新 年

2026年（令和8年）

1月号 No.226

社協だより たてばやし

発行

社会福祉法人 館林市社会福祉協議会



この「社協だより」は共同募金の配分を受けて発行しております。





館林市社会福祉協議会 会長 三田正信

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはつつがなく新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、旧年中は本会活動に深いご理解とご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。心より敬意と感謝を表する次第でございます。

さて、昨年は高齢社会最大の課題とされる2025問題の年に突入し、地域福祉においてもその対策と対応が急がれる年でもありました。

市や国県が推進する「地域包括ケアシステム」を住民サイドで後押し展開する「支え合い市民協議体」を実行組織として市内社協8支部が連携し、健康や交流を目的とした「居場所づくり」問題の相談から解決までを共有する「ネットワークづくり」、給食や配食、買い物や通院など暮らしの不便を解消する「日常支援」、災害に備えて物資と身の安全を確保する「福祉避難」など、各支部が英知と経験をもとに地域の実情に合った「支え合い活動」を力強く推進しています。

このことは、まさに「孤独・孤立に悩む人をつくることなく、誰ひとりとして取り残すことの無い共生社会」を目指した地域の実践活動に他なりません。令和8年は「午年」です。馬は古くから成功や繁栄のシンボルで大変縁起の良い動物とされています。これにちなみ午年は物事が大きく動き、挑戦や努力が実を結びやすい年とも言われています。

2025年問題は始まつたばかりですが、その先には2040年問題が待ち受けています。会議の場から外に踏み出し実践を通して未知の課題をひとつずつ、試行錯誤しながらも確実に解決し、共生社会の実現を目指さなければならぬと考えておりますので、引き続きご指導ご協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに社協会員の皆様をはじめ、社協支部、関係福祉団体のいやさかをご祈念申し上げ新年のあいさつといたします。



館林市 市長 多田善洋

新年明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新春をご家族お揃いで健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

社会福祉協議会におかれましては、誰もが自立し、安全・安心に暮らすことができる地域共生社会の実現のため、平素より地域福祉活動の推進に格別なご尽力を賜り、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、近年は物価高騰や災害への備えなど、暮らしをめぐる課題が顕在化しています。本市といたしましても、見守り・生活支援の体制強化や、子育て世帯・高齢者への相談支援の拡充、保健・医療・福祉の連携などを推進し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域共生のまちづくりを引き続き進めてまいりますので、社会福祉協議会の変わらぬご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

結びに、社会福祉協議会の限りないご発展と、新しい年が市民の皆様にとって輝かしい一年になることを祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



新年のあいさつ



館林市議会 議長 渋谷理津子



館林市ボランティアサークル連絡会 ほほえみ 会長 芦沢静子

芦沢 静子

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、館林市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

社会福祉協議会の皆様におかれましては、常日頃より、地域福祉の向上のため、自立支援や地域づくりに積極的に取り組まれておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、近年は、いわゆる「2025年問題」を象徴とする超高齢化の進行に加え、孤立や孤独、障がい者支援、ヤングケアラー、災害時の要配慮者支援など、福祉を取り巻く課題が一層複雑化しております。こうしたなか、地域のつながりを守り、支え合い・助け合いの輪を広げてこられた皆様の取り組みは、本市の大きな力となつているものと認識しております。

市議会といたしましても、行政と連携し、誰もが安全・安心に暮らせる地域づくりのため、喫緊の福祉課題の解決に、全力で取り組む所存でございますので、本年も皆様方の一層のご支援、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、社会福祉協議会の益々のご発展と、今年一年が市民の皆様にとって健康で幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げまして、新年のあいさつとさせていただきます。

館林市福祉団体連絡協議会 会長 松澤恒雄



NPO法人連絡協議会 会長 牧田康平

新年あけましておめでとうございます。

日頃より本会活動に、ご指導、ご理解いただき感謝いたします。

現在それぞれの団体が相談したり、お互い協力しながら活動をすすめています。

ボランティア活動は一人で気軽にできる事から、グループで力を合わせてする事まで、様々です。
総合福祉センター（社会福祉協議会）にボランティアセンターが設置されています。ボランティアを始めたい方や、それを必要とする方の相談を受けたり、入門等の講習会を開いたり、活動に関する資料を提供しています。ボランティアは他人や社会のためにというだけでなく、楽しさや生きがいを見つけたり、自分自身を高めたりするところから生涯学習の一環として始める人もいます。今年も新しい仲間とふれあい活動で、今年もよろしくお願ひ申し上げます。



あけましておめでとうございます。
みなさまにおかれましては、無事に新年を迎えることができ、安心と本年への期待に満ちていることとお慶び申し上げます。

当会の事務局でもいらっしゃいます社会福祉協議会様におかれましては、地域福祉の推進をとおして、安心ある市民の暮らしにご尽力されておりますこと、深く敬意と感謝を申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。
昨年中は、館林まつりや福祉まつりにご協力を賜り誠にありがとうございました。
さて、団塊世代の人たちが後期高齢者となり、まさに超高齢化社会を迎えた。ひとり暮らしや老老介護、障がいのある人たちなどの世帯が増加しています。すべての世帯の人たちが普通に暮らしがいをもつて暮らせる社会づくりの実現に取り組んでまいりたいと思います。
結びに館林市福祉団体関係者の皆様にとりまして、今年が良い年でありますようお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。

さて、年始早々突然で恐縮ですが、「互近助」という言葉を聞いたことはありますか？防災の分野でよく話される「自助」「共助」「公助」と共に語られる言葉です。向こう三軒両隣、ご近所の方とのつかず離れず、でも「困ったときはお互い様」の地域での関係性は有事の際に自然と声を掛け合い、安心な日常を過ごしているのではないでしょうか。この考え方は防災の分野にとどまらず、子育て、教育、介護をはじめとして、子ども達から大人までがそれぞれに、ご近所だけでなく、心の支えとなる人の関係を、お互い様の気持ちで過ごすこと。それがこれからの中子化・人口減少社会における孤立のない豊かな生活を送るために一助を担うものであると感じています。

当会も、市内の福祉の分野を中心には、様々な団体がつながり、支えあい、定期的に顔を合わせることで地域課題を共有し、その課題解決へ向け取り組んでおります。本年もより一層つながりを強め、市に根差した活動を進めていく所存でありますので、何卒、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、社会福祉協議会の活動のますますのご発展と、館林市がより住みやすい安心した地域になりますことを祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

令和7年度 館林市社会福祉協議会表彰・感謝

館林市社協では毎年、住みよい地域づくりのためまたは社協事業の遂行にあたり、尽力された個人や団体を表彰しております。今年多くのかたへ、お力添えに対しての感謝をお伝えし顕彰することができました。

(敬称略)

【役員功労】

中山 勉 (北成島町)	中村百合子 (西本町)
-------------	-------------



【高額寄付】

両毛ヤクルト販売株式会社 (足利市花園町)
群馬県トラック協会館林支部 (下早川田町)
館林レディースコーラス
ダイドーティスコムビバレッジ株式会社 (青柳町)
たてばやし元気クラブ (大手町)
第一三共株式会社 (邑楽郡千代田町)
河本工業株式会社 (北成島町)



【地域福祉功労】

横山紀美子 (本町)	故 野本 弘美 (富士見町)	倉林 高子 (瀬戸谷町)
橋本 公喜 (大島町)	津久井和枝 (緑町)	岡部さかえ (緑町)
水野 和博 (高根町)	沖田 俊道 (成島町)	

【ボランティア功労】

狩野 利枝 (成島町)



【感謝状】

荒井 里子 (苗木町)	江藤よう子 (近藤町)	青木 幸雄 (下早川田町)
斎藤 伸二 (日向町)	田部井律江 (日向町)	柳澤 徳幸 (成島町)
井野口 光 (小桑原町)	鎌田 尚之 (赤生田本町)	松本善一郎 (大島町)
岩上希巳江 (細内町)	深津 恵司 (当郷町)	石川 初代 (広内町)
柿本 勝枝 (羽附旭町)	加藤 健一 (赤生田町)	稟原 幹也 (岡野町)
鈴木 幸子 (羽附旭町)	根岸喜代子 (羽附町)	荻原 博之 (赤生田町)
松久知恵子 (つつじ町)		

「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」

11月11日(いい日・いい日)は「介護の日」です。高齢化などにより介護が必要な方々が増加している一方、介護にまつわる課題は多様化しています。一人でも多くの方に介護の大切さ、知識や理解を深めることを目的に市内在住勤者及び在学生を対象に介護川柳の募集を呼び掛けました。

711作品の応募があり、川柳作家 長 孝次審査員による厳正な審査の結果、下記のとおり入選作品が決定し、館林市社会福祉協議会三田正信会長より、表彰状が授与されました。



入選作品

最優秀賞

徘徊の祖父と見つけた季節感

八十島淑子

優秀賞（小学生の部）

ひいばあに手をかし歩く六歳児

館林市立第七小学校六年 江森 結菜

優秀賞（中学生の部）

「よく来たね」時が流れて 「どちら様」

多々良中学校三年 中川 美心

優秀賞（高校生の部）

春の陽に車椅子押す影ふたつ

館林女子高等学校一年 松浦 飛鳥

優秀賞（学生の部）

できること奪わぬよう寄りそう手

館林高等看護学院一年 七部 晏奈

優秀賞（一般の部）

老々で介護保険に助けられ

滝澤 幸子

わくわくマルシェ 開催報告!

子育て支援センターわくわくらんどは、11月1日(土)に今年度2回目となる「わくわくマルシェ Autumn」を開催しました。

当日はハンドメイドの作品販売や耳つぼ、メダカすくいの体験など11店舗が出店し、多くの方々に来場していただきました。ご好評の声から来年度も開催予定です。



災害ボランティア養成講座 小中学生ボランティアスクール開催!

11月15日(土)に災害ボランティア養成講座・小中学生ボランティアスクールを開催いたしました。当日は70名のご参加があり、前橋気象台の藤田哲先生をお招きし、「経験したことない大雨 その時どうする?」を講演いただきました。

ハザードマップを基に災害の備えや気象について理解することができました。



交通遺児育英資金の給付

生計中心者が交通事故で亡くなったり、重い後遺障がいにより働けず、経済的に修学が困難になった子ども達を支援するため、交通遺児育英資金を給付いたします。

■事業内容

小学校、中学校及び高等学校の課程を履修するために必要な学資の給付。

(一人あたり)

小学校在学 月額3,000円

中学校在学 月額4,000円

高等学校在学 月額5,000円

※年2回(9・3月)に指定口座へ

直接振込みます。

■申込み時期 随時

■申込み方法

社会福祉協議会までご相談ください。

■お問合せ 地域福祉課

●フードドライブにご協力ください

余っている食料品や日用品の寄付をお願いいたします。いただいた物は生活にお困りの世帯などに配布いたします。

受付時間：随時行っております。

午前9時～午後4時

場 所：市総合福祉センター

(館林市苗木町2452-1)



(生鮮食品や賞味期限の近い物などお引き取りできない物もあります。)

●フードドライブ配布相談会開催!

令和8年2月18日(水) 午前9時～午後4時

事前予約制で面談の後、配布いたします。

対象世帯：生活にお困りの世帯

(ひとり親世帯、高齢者世帯、失業中の方など)

予約期間：令和8年1月13日(火)～2月6日(金)

電話または来館にて予約

できます。

お問合せ：地域福祉課

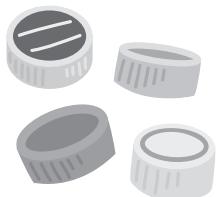




ペットボトルキャップ

合計 457.37kg

館林市渡瀬公民館 (46.65kg)
Kidsプラス (8.38kg)
東こども園 (9.6kg)
館林信用金庫 (3.9kg)
すみれの里 (14.9kg)
小川優花 (1.4kg)
赤羽民児協 (22.6kg)
館林市立第六小学校 (15.8kg)
中部第二民児協 (13.3kg)
早川雄二 (4.5kg)
六郷第一民児協 (3.26kg)
田村俊廣と仲間たち (7.3kg)
西高根町のみなさん (17.5kg)
青木透 (5.14kg)
大島地区 区長会 (16.4kg)
館林市立美園保育園 (16.38kg)
須永水道工事 (5.58kg)
有限会社 竹森薬局 (3.7kg)
日興リカ(株)館林工場 (6.66kg)
わくわくらんど (7kg)
諏訪美智代 (13.5kg)
鍋岡塾 (10kg)
第一生命館林中央営業オフィス (9.5kg)
市役所 障がい福祉係 (0.52kg)
あすか会 (1.8kg)
赤羽公民館 (26kg)
ハッピー広内 (11.6kg)
館島俱楽部 (7kg)
郷谷公民館 (44kg)
やまや食堂 (4.1kg)
アルテミラ製缶(株)群馬工場 (9.82kg)
ラーメンたじま (1.68kg)
分福公民館 (17.4kg)
館林市立第七小学校 (70.5kg)



プルタブ

合計 16,836g

館林市渡瀬公民館 (3,200g)
エターナルプロジェクトの仲間達 (3,872g)
すみれの里 (200g)
小川優花 (140g)
西高根町のみなさん (150g)
623ファーム (764g)
青木透 (316g)
わくわくらんど (932g)
諏訪美智代 (1,714g)
鍋岡塾 (1,240g)
あすか会 (378g)
赤羽公民館 (30g)
郷谷公民館 (2,400g)
分福公民館 (1,500g)



使用済み切手

合計 90g

市役所 障がい福祉係 (90g)

寄附物品 寄附金

一般社団法人 東毛法人会 女性部会

(タオル100枚)

ダイドーテイスコムビパレッジ株式会社

(飲料品110本)

長澤 孝 (車いす2台)

匿名 (衣類・下着等13点)

館林元気くらぶ (野菜詰合せ)

長澤 智恵 (車いす1台)

館林レディースコーラス (寄附金10万円)



匿名 (寄附金510円)



館林レディースコーラス 様



令和7年度 館林市・板倉町・明和町 合同手話奉仕員養成研修会

フォローアップ研修のおしらせ



- 1. 日 時** 令和8年1月14日～2月18日 毎週水曜日 計5回・※2/11(水・祝)を除く
午後7時00分～9時00分
- 2. 場 所** 館林市総合福祉センター 館林市苗木町2452-1
- 3. 対 象** 手話奉仕員養成講習会（入門・基礎編）を修了し、継続した学習を希望される方
- 4. 申込方法** 令和8年1月5日（月）～1月12日（月・祝） 地域福祉課まで

ふれあいサービス会員養成講座を開講します



ふれあいサービスは高齢者・妊娠婦・障害者などを対象として、家事援助や外出時の付き添いなどをお手伝いする有償のボランティア活動です。

高齢により買い物に行けない方の買い物代行や食事の準備、産前産後の家事手伝い等、地域の困りごとを手助けできるサービス会員を募集いたします。

多くの受講をお待ちしております。

- 日 時** 令和8年2月6日（金）9:00～12:00
場 所 館林市総合福祉センター 3階
ふれあい大ホール
対 象 者 市内に在住し、受講終了後ふれあいサービス会員として活動可能な方
申 込 み 令和8年1月30日（金）までにお電話またはFAXにてお申込みください。
お問合せ 地域福祉課まで

令和7年度 館林市要約筆記体験講座を開催致します！



- 1. 日 時** 令和8年2月3日、2月10日、2月24日 火曜日 計3回
13時30分～15時30分
- 2. 場 所** 館林市総合福祉センター 3階
大ホール 館林市苗木町2452-1
- 3. 対 象**
 - 市内在住または在勤で全日程に参加できる、次のいずれかに該当する方
 - ・聞こえに不安を持つ方のいる家族
 - ・福祉活動に興味があり、やってみたい方
 - ・民生委員をされている方
 - ・医療や福祉関係に携わっている方
- 4. 定 員** 20名
- 5. 申込方法**
令和8年1月5日（月）～1月26日（月）
地域福祉課まで

延山	小林	高野	戸叶	飯塚	小島	柳沢	桑子	稻葉	小林	齋藤	荒井
（福祉団体）	（ボランティア団体）										
昇子	節子	江子	民子	秀芳	早苗	功一	博洋	洋子	ユウ子	香順子	
（福祉団体）	（ボランティア団体）										

広報委員



【発行・問合せ】社会福祉法人館林市社会福祉協議会（□総務課 □地域福祉課 □介護事業課）

〒374-0043 館林市苗木町2452-1（館林市総合福祉センター内）【URL】<https://www.tate-shakyo.or.jp>

【TEL】0276-75-7111 【FAX】0276-75-8111 【E-mail】info@tate-shakyo.or.jp